

議会報告会実施報告書

開催日時	平成29年4月19日 19時00分 ～ 20時30分
開催場所	林田公民館
出席議員	(班長) 脇 芳美 (司会) 脇 芳美 (記録) 植原 泰 (議長) 若杉輝久 (班員) 鳥飼年幸, 斉藤義明, 植條敬介, 大前寛乗
参加市民数	39人 (男性28人, 女性11人)
実施内容	<p>議会報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会挨拶 脇 芳美 ・出席議員自己紹介 ・委員会報告 <ul style="list-style-type: none"> 予算概要 鳥飼年幸 総務消防委員会 大前寛乗 教育民生委員会 植條敬介 市民建設委員会 斉藤義明 議会改革のあゆみ 若杉輝久 ・質疑応答 ・意見交換会 ・閉会挨拶 斉藤義明
	<p>質疑応答</p> <p>〈質疑〉 東部有線事務所跡の備蓄倉庫に何が入っているのか。 災害発生時に市民がやって来た際にその配分はどうなるのか。 どこの地域の避難物資となっているのか。</p> <p>〈回答〉 中に保管されているのはアルファ米や米, 飲料水や乾パン等の食料, 紙おむつ等の日用品が備蓄保管されている。</p> <p>〈回答〉 備蓄倉庫の物資は個人が取りに行くものではなく, 市が取りに行くことになっている。県にも同様に備蓄されていて, 市民の1%ほどの備蓄をしなければならぬことになっているが, 道路等が通行できるようになってから市が取りに行き配付することになっている。</p> <p>〈回答〉 市民にお願いしているのは, 3日間は個人の備蓄で賄ってほしい, そのあとコンビニ等の流通物資で約2日, 県・市の備蓄で1日。そうすれば他所からの物資が運ばれて来る。避難所に収容できる人数は現在1万3,000人。その1.2倍の備蓄が県・市で用意される。その根拠は阪神淡路大震災の時に各避難所に物資を取りに来た方のデータに基づいている。ただ今はまだ十分ではないので, 3年から5年かけて備蓄していき, また賞味期限があるので1度に備蓄すると1度に入れ替えないといけなくなるので何年かかけて備蓄していくよう</p>

	<p>にしている。</p> <p>〈質疑〉 備蓄倉庫になる元東部有線事務所の標高はいくらか。</p> <p>〈回答〉 ここでは正確な値がわからないので後日報告する。</p> <p>〈質疑〉 海拔と標高の違いは。</p> <p>〈回答〉 標高は東京湾の平均水面を0 mとして求めた地面の高さだが、今は海拔も標高もイコールで使われている。詳しくはまた後日報告する。</p> <p>〈質疑〉 予算で土木費が5%ほど下がっているが、この中で、道路の補修費は増減があるのか。</p> <p>〈回答〉 道路の補修費は、大きな変動はない。前年の実績をもとに維持費を考えているので前年並みにはついている。</p>
意見交換	<p>〈質疑〉 少子高齢化が進む中で、今年度個人市民税が増額になっているのは市民にとって増税になっているのではないか。市立病院の建設や新庁舎の建設で市民への負担がどのくらい今後増えていくのか教えていただきたい。年金生活で急激に負担が増えるのは困る。</p> <p>〈回答〉 全国的に見ても市税が増えたのは特に法人市民税が企業の業績が良くなったことにより増えたことが大きいのと、個人の市民税が増えるのも個人所得が増えたことによるものですので、税制が変わらない限り年金生活者の市民税が増えることはない。</p> <p>〈質疑〉 4月17日の四国新聞に香川県の司法書士協会に委託したと書いていたが、その場所はどこで誰が常駐しているのか教えてほしい。</p> <p>〈回答〉 坂出市が委託したのではなく、協力をしてもらうことになったということで、どこかに常駐者を置くのではない。昨年ゼンリンにお願いして空き家調査をしたが、今度特定空家等になったもののうち、売却や相続等の問題が出てくると思うのでそうしたときの相談窓口になってもらうために宅建協会や司法書士会の仕事に関係が出てくるので協力をお願いしたということで、今年の4月か5月の広報に別紙でその連絡先等のチラシが折り込まれていたと思う。</p> <p>〈質疑〉 道路を車で走っていて交差点でこちらが青信号にもかかわらず老人が飛び出してくる。これは自治会ではどうしようもないので、行政側で何とかしてもらえないか。大阪の堺市では、交通安全講習会を受けた高齢者に対し、ヘルメットを買う際に2,000円の補助をしている。坂出は高齢者の交通安全意識が低い。自転車で飛び出してきた接触して転倒した場合、高齢者は亡くなる場合が多いが、その結果、自動車側に責任が行き、免許の取り消し、会社を解雇される。メデイ</p>

アに名前が載る等の制裁が加わるので、長い目で見て交通安全講習会等を実施する意思があるかどうか確認したい。予算化しなくても地区の老人会等の際に講習会を開くとかできないか。

〈回答〉 指導かどうかということは議会として答弁はできないが、日々の生活の中で交通安全啓発活動は行っていくが、交通事故や交通死亡事故を無くしていかななくてはいけないので、市側に対してどう考えているかを問い合わせして検討していく。

〈質疑〉 交通安全啓発はやっていかないといけないが、高齢者でも歩く人から自転車や車に乗る人等様々なので、「交通事故が多いので市が何とかします」とはならないと思うし、言っても高齢者は聞かないところがあるので、市の仕事ではなく市は市道等の整備をお願いするしかないのでは。

〈回答〉 我々として市側に提案できるのは、交差点をカラー舗装して注意喚起することや、歩道に飛び出た電柱を何とかする等のハード面での対応になるが、交通事故死が多い県なので啓発も必要。この両方を我々議員が提案し進めていきたい。

〈回答〉 ハード面のことになるが、昨年12月議会で、道路の植栽が視界を悪化させている個所が多くあるので対応してほしいという質問に地区の自治会で改善申請してもらえれば市側としては検討していくとの答弁を得ている。そうした箇所があれば市に申し出ていただきたい。

〈質疑〉 予算関係は、説明いただいたが市立病院の今年の決算はどうなっているか。

〈回答〉 新しくなって1年経つが、決算状況が出てくるのが10月くらいになるので、まだはっきりしていないが、経営状況は良いようである。ただし、新築で新しい機器も購入しているので、減価償却を考えると楽観視はできない。

〈質疑〉 市立病院建て替え、市庁舎の建て替え、旧市立病院の跡地利用と大きな事業が続いているが、財政状況は大丈夫なのか。市民にツケが回ってくるのではないのか。

〈回答〉 大きな事業が続いており、旧市立病院の跡地については先日、市長より多くの人が集えるものを作りたいとの意思が示された。市が活動すると市債のような借金は増えるが、計画的に進めているので、税金を勝手に上げることはできないし、市民の皆様にご迷惑を掛ける状況ではない。

〈質疑〉 待機児童の問題で、保育所の増設等を考えているのか。

〈回答〉 待機児童については、基本的には坂出市の場合はいないが、

年度途中で入所できない、特に0歳児や1歳児は出てきている。我々がしっかり市側に要求していかなければならないのは、保育士の確保をしっかりとってもらうような市独自の対応をして、市内で勤めてもらえるようにしていくことが大事だと考えている。今回の予算にも入っているが、認定子ども園ができている。幼稚園型にはなるが、坂出一校幼稚園やルンビニ幼稚園が移行する。共働きが増えているので保育所に預ける保護者が増えている。そうした施設の中で少しでも分散していければと考えて坂出市も取り組んでいる。

〈回答〉 昨年10月発表では、市内で6人待機児童が発生した。仕事の都合で、特定の保育所に行きたいが空きがなくて別の保育所には行けないというミスマッチが発生しているということはお伝えしておく。我々議会としてもしっかり監視していく。

〈回答〉 3月議会で質問した中で、大屋富町で民間企業が4月から企業内保育園を開設する。受け入れ人数は15人であるが、そのうち7人は地域枠で市内からの子供を受け入れてもらえるということなので、そうした施設も利用していただければと思う。ここは認可外施設で、市は関与していないとの市側からの答弁があったが、現実に待機児童が出ている以上、保護者の希望どおりにはいかななくても市がそういった所とも連携していかななくてはいけないのではと要望している。